

分析結果報告書〔6〕 2 / 2

<吸光度法> イオンクロマトグラフ法以外の方法で分析した場合には以下に記入する。

試料溶液の分取量	() mL
吸収セルの光路長	() mm
波長	() nm
試料の吸光度 注1)	1回目 () 2回目 () 3回目 () 4回目 () 5回目 ()
空試験の吸光度	()
検量線の作成 作成点数	()
作成範囲 (量)	最小 () ~ 最大 ()
最大量の吸光度	()

注1) 測定回数分の指示値を記入する。

<イオンクロマトグラフ法>

試料溶液の希釈 (希釈倍率)	希釈倍率 () 希釈しない場合は希釈倍率=1とする
注入量	() μ L
試料の指示値 (硝酸イオン) 注1)	1回目 () 2回目 () 3回目 () 4回目 () 5回目 ()
試料の指示値 (亜硝酸イオン) 注1)	1回目 () 2回目 () 3回目 () 4回目 () 5回目 ()
空試験の指示値 硝酸イオン	()
亜硝酸イオン	()
検量線の作成 硝酸イオン 作成点数	()
作成範囲 (濃度)	最小 () mg-NO ₃ ⁻ /L ~ 最大 () mg-NO ₃ ⁻ /L
最高濃度の指示値 亜硝酸イオン 作成点数	()
作成範囲 (濃度)	最小 () mg-NO ₂ ⁻ /L ~ 最大 () mg-NO ₂ ⁻ /L
最高濃度の指示値	()
溶離液の種類	1. 水酸化カリウム溶液 2. 炭酸ナトリウム・炭酸水素ナトリウム混合溶液 3. 炭酸ナトリウム溶液 4. 炭酸水素ナトリウム溶液 5. その他()
分離カラムの種類 メーカー 型式 注2)	1. ダイオネクス 2. 島津 3. 日立 4. その他() ()
ガードカラムの使用	1. 使用する 2. 使用しない
イオンクロマトグラム メーカー 区分 型式 注2) 製造年(又は導入年)	1. ダイオネクス 2. 島津 3. 日立 4. その他() 1. サプレッサー型 2. ノンサプレッサー型 () () 西暦

注1) 測定回数分の指示値を記入する。

注2) 型式には機器やカラムの商品名 (型番) を記入する。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--